

令和4年度第2回三原市生活環境審議会 会議録

令和4年12月23日（金）

午前14時30分～

三原市役所 305 会議室

会議次第

1 開会

2 議事

(1) 液状一般廃棄物の収集、運搬及び処分に関する手数料の原価計算書改定案について

3 その他

出席委員 12名

加東 政志, 菊池 次郎, 鎌田 美恵子, 杉谷 辰次, 砂田 則幸, 田坂 勇,
廣近 哲二, 藤井 啓文, 藤原 克彦, 三苫 好治, 本山 繁則, 渡邊 真功

欠席委員 1名

檜垣 加津

庶務 森坂生活環境部長, 宮地環境施設課長, 松浦施設管理係長, 坂本主査

その他 三原市委託業務受託業者 2名

傍聴者 5名

配付資料

- 次第
- 資料1 液状一般廃棄物（し尿等）処理手数料算定基準の見直しについて
- 資料2 し尿等収集運搬手数料原価計算書改定案
- 資料3 一般廃棄物処理手数料に係るし尿等収集運搬手数料額の改定について（答申）
（平成19年11月，三原市生活環境審議会）
- 三原市生活環境審議会委員一覧（当日配付）
- 配席表（当日配付）

【議事】

○庶務：資料確認

○新規委員：自己紹介

○庶務：第1回議事内容の確認

○委員長議事進行

以下，敬称略

【質疑応答】

議題	液状一般廃棄物の収集、運搬及び処分に関する手数料の原価計算書改定案について 庶務説明：【資料 1, 2, 3】
委員	細かい数値のことは、1 回の説明ではわからないが、バキューム車の購入代金について、6,121,000 円を提示しているが、いつ時点の購入価格か。近年、物価の上昇が激しい。
庶務	今回の原価計算書改定案を算定するにあたり、各業者さんから資料をいただいており、その平均の額を提案している。
委員	6,121,000 円という価格だが、今から 15 年前の平成 19 年にうちの会社で日野自動車から見積もりをとったが 6,124,100 円だった。3,100 円しか違わない。今、こんな価格ではバキューム 2 t 車は、購入できない。バキューム車はモリタ（モリタエコノス）という会社が特殊加工しているので注文生産だが、一年以上待つ状況だ。●●さんもよく知ってらっしゃると思う。
委員	入らない。
委員	この価格は 15 年前の価格だ。今は、値上がり激しい状況にある。ガソリンや保険といろいろあるが、どれも高くなっている。いつの実績をもって参考になっているか、教えてほしい。
庶務	用いた数値は、各業者が現在所有している 18000 のバキューム車の購入価格を用いている。購入時期で最近であれば高く、以前に購入した車両があれば低くなっている。これは、どこの数値を用いるかは難しいところです。
委員	15 年前の見積もりと同じような数字では、納得できない。（見積もり書を）資料として提供しますよ。今、こんな価格では購入できない。私が知りたいのはいつの時期のどういう価格かということだ。
庶務	今回、お示ししているのは、現在所有している車両の価格である。
委員	市場調査してから原価計算を行うのが適切だと思う。
庶務	例えば、市で入札すれば契約額として価格がはっきりするが、見積書は水物といったところがあり（参照資料にするのは）難しい。
委員	言い訳である。全て原価に関わってくるので、しっかり、調査いただきたい。 もう一つ、回転数について質問がある。2.31 回というのは、14 年前の数値と思う。 市の職員が収集車の後ろをついてきて 3 回にわたって実態調査をされた。6, 7 月だったと思うが、平均 1.3 回転だった。なぜ、実態調査をしたのにその数値を使用しないのか。 それから（手数料は）全額住民負担となっている。大和町は、遠いということで（手数料額がほかの地域と）格差が生じている。（手数料を）公共料金であるとするならば、押しなべて同じにするのが建前ではないのか。3 点（疑問がある。）。

委員長	<p>まとめますと、車の価格の件、ガソリンの件、回転数、(手数料は)公共料金であるという件ですね。庶務の冒頭の話では、今回は19年度のを改定したものを準備し、今回の審議会で意見をいただいて、課題を次回検討するといった趣旨だと思います。ぜひ、検討をお願いいたしたいと思う。</p>
委員	是非、お願いします。
委員長	ガソリン代についてよくわからない。いつの料金が基準になっているのか。
委員	今、ガソリンのことは申し上げていない。車の価格の件、回転率、地域格差の件を申し上げた。
委員長	ガソリンの件は、よかったですか。
委員	実態にそぐわない、実態に即した議論をしてほしいことを申し上げたかった。その話の中でガソリンのことも出てくると思う。
庶務	<p>まず、車両価格については、次回の審議会で、現在提案している車両価格の根拠資料をお示しします。</p> <p>また、最近の車両価格を調べてみたいと思いますが、バキューム車は、特殊な車両ですので自治体で購入する機会も少ないため、どこまで資料が揃えられるかわかりませんが、調査してみたいと思います。</p> <p>それから、回転数についてですが、各社2回程度実態調査を行いましたので、2回分の調査の回転数は把握しています。これをそのまま使うのかといった議論もあります。また、回転数は、収集件数が減ると下がります。最後の1件になった場合、その方が全部負担するのかといった話になります。</p> <p>前回の審議会は、普通に作業すれば、4回、2.6回作業ができるといった数値が出ておりますので、今回の審議会では、とりあえずその数値を参照している。本日の審議でこの回転数がおかしいということになれば、実態調査の結果やみずきへの投入回数の数値はありますので、その資料を見ていただいて審議いただければと思います。</p>
委員	<p>今回の手数料の見直しについては、そもそも手数料の位置付けをどういう方向に位置付けられようとしているのか、確認したい。</p> <p>全て住民負担という考えであれば、件数が少なくなればなるほど住民の負担は増える。先ほど、バキューム車が高いとか安いといったところも当然、見直しは必要として、それを置いて考えても毎月1台につき200万が必要だとなっている。それを住民が全部負担するのか、それとも広島市のように住民負担の部分はこの料金で、足らない部分を行政が負担する、委託契約という形式をとるのか、それによって手数料の定め方が変わってくるのではないかと思う。</p> <p>先ほどグラフ(資料1 番号5)で広島市がリッター当たり4.4円だったが、ちょっと考えてもらおうと(この額では)無理だとわかると思う。実際、広島市は、行政が差額分を負担しておられる。そういう手法もある。現状、三原市は、全て市民の負担でされている。その方向性を確認しないとそもそも手数料の見直しが変わってくると思う。</p>
庶務	手数料の住民負担の在り方、業務の委託化といった収集体制についてご意見を

	<p>いただきました。確かに広島市さんはリッター4円（資料1 4.44円）ということで、市が（差額を）負担しているということは伺っています。</p> <p>前回の審議会でも審議の工程について説明いたしましたが、まず三原市のし尿等の収集業務にどのくらいのお金がかかるのか、総額、パイの大きさを決めたいと思います。それが原価になります。</p> <p>業者さんがこういった経費をかけて収集しているのだなということを決めて、それをリッター当たりで割り戻すと、大和だといくら久井だといくらかかるという単価が出ますので、それをどのように負担するかという議論を、工程3で行いたいと考えています。</p> <p>委託にするとか、住民に補助金を出すとか、今までどおり全部住民負担でいこうとか、様々な意見が出るかと思えます。</p> <p>まずは、原価を決めて、住民が負担する額が見えて、次にこれは負担が大きすぎるとか、これくらいだったら払えるだろうとか議論ができるかと考えています。</p> <p>手数料の方向性については、今回の審議会でも三原市の方でこうしていこうということは、持っていません。（審議会の）意見をいただいて、その結果をもって市の方が動いていこうかと思っています。</p>
委員	<p>第1回の資料で収集業者からの要望書を添付していたと思います。</p> <p>各業者が全面委託を要望している。</p> <p>そもそもこの1台当たりの原価というのは、相当する件数が無いと成り立たない。</p> <p>それを通常モデルケースということで21日、回転数で割り戻している。</p> <p>現状にそぐわない日数であったり、回転数で割り戻したら現場の方が合わないの、全面委託をお願いしている。前回の料金の見直しのモデルケースと現在とは、範囲が広がっている。</p> <p>全体としてこれくらいかかるというモデルケースで額を定めて、今の住民負担の方式で実施すると、差額は業者が負担することになる。業者に赤字で業務してくださいということになる。そこをところをご理解いただきたい。</p> <p>三原市は、全面委託という方向性を考えていないのか。</p>
庶務	<p>方向性についてですが、市の方で委託化するかしたくないとかではなく、審議会の中で議論をいただこうと考えている。</p> <p>（委託化は、）市にとっても負担が増えることになる。手数料の取り方など全く変わってきます。そこまでして委託化するのか、どこまでするのかについて議論をしていただきたいと思っています。</p> <p>それを基にして、「審議会でこういう意見があったので、こうしていきたい」というのを市の内部で調整していくようになります。</p> <p>住民負担についても手数料の改定ですので当然議論になるかと思っていますが、全部を一度に議論しますと審議が進みませんので、まずはモデルケースを用いてこれくらいのお金がかかるということを決めて、それから次の段階に進めて</p>

	<p>いきたいと思っています。まずは、原価を計算する基になる車両代や回転数などについて議論を詰めて、(原価計算の)結果をみて、住民負担がおかしいということであれば、次の工程3のところまで審議していくように思います。</p>
委員長	<p>今の議論の進め方について、庶務から説明がありました。やはりある程度のところから始めないと、白紙のところからは難しい。今日もそうですが、皆さんの意見をいただいて、数値なども精査していく、ブラッシュアップしていく。ある程度、皆さんが納得できるものができたら次の段階にという進め方でどうでしょうか。</p>
委員	<p>手順としては、そうなると思う。</p> <p>式は、同じでも充てる数値が変わると原価が変わってくる。</p> <p>21日の稼働日数についてですが、●●(事業者名)は、3台の許可車両を持っている。3台が21日稼働することはまずない。</p> <p>原価計算の基本を2t車の汲取りとすると週1回しか稼働していない。みずきの実績を見てもらえばわかると思う。</p> <p>あまりにも数字がかけ離れている。充てる数字について、よく計算してほしい。15年前の2.31回転が正しいのかなど、車両の購入代金と回転数を(実態を)よく参考にして原価を計算してほしい。</p>
庶務	<p>今回提示している原価計算書案は、収集業者の方と事前に打ち合わせする中で「平成18,19年に合併に基づく統一基準書を絶対につくるといった心意気で策定した統一基準書があるのだから、単価設定が変わるものだけ設定を変えて示せばよい」という意見をいただいたうえで提示させていただいている。提示した基準書について、改めて見直すべきではないかという点については、この審議会の中で審議していただければと考えている。</p> <p>現在、回転数について、このまま使えないのではという意見をいただいております。例えば、みずきの搬入台数などの資料もあります。先ほど●●さんからありましたように市が2回ほど実態調査を行って、このぐらいの作業効率だなということも把握しています。ただ、実態調査の365日のうちの1日の調査を全ての作業効率に適用するのか、とも思っている。何が適切かということを含めて改めて審議していただきたいと考えている。</p>
委員	<p>2.31回と今回の調査の1.3回では、差がありすぎる。これがもう少し近い数値なら分かるが、2倍近い数値というのは、おかしいのではないかと感じている。</p>
委員	<p>もう一つ言っておきたい。この審議会は15年間ほっておいたということはいけな。い。(答申書に)3年おきにするようになっている。3年おきに行えば格差が生じない。15年分を一気にしようとするから色々な問題点が発生する。業者からも何度も要望をしていた。</p>
庶務	<p>私も今年から業務を担当させていただいている。市の職員として申し訳ないと感じている。</p> <p>かねてから要望をいただいておりますが、昨今、物価上昇ということがありまして市役所全体としてこれを見直すべきといった空気になっております。</p>

	<p>これまでデフレや職員給与が下がっていることもなり、計算しても喫緊に見直しする必要がないと判断しておりました。現在は（業者さんが）大変だろうということで審議会を行っております。</p> <p>3年に1回ということが（答申に）ございますが、これまでずっとできていなかったということは、申し訳なかったと思いますが、実際には、計算するとあまり変わらないので、今回のように皆様に集まっていただくまでもないといった判断をさせていただいております。</p>
委員	呼んでいただければ、いつでも参加しますよ。
委員長	<p>過去のいきさつを考えると課題があったと思います。お怒りもごもつとも思っています。今回、いただいた意見をこのタイミングでまじめに考えて、できるだけ（実態に）近づけていくということで進めていきたい。</p> <p>まず、今日はモデルケースであって、それが現状と違うということをお聞きした。</p> <p>具体的にどこが違うかということ意見をもらえば、次回、庶務が資料を揃えて説明するという姿勢ですので、是非、色々な意見をお願いしたい。</p> <p>今、車の価格と回転数が大きく影響します。その他に何かございますか。</p>
委員	<p>バキューム車の職員を募集しても応募が無い。</p> <p>求人しても、仕事内容がバキューム車の運転やし尿の汲取り作業という誰もこない。1年以上募集をかけている。そのところを考えてもらいたい。</p>
委員長	それは、人件費部分ということですか。
委員	私が申し上げたいのは、世間がそういうものだということです。どんな数値を当てはめるとかについては、今、申し上げているわけではない。そういった現状があることも念頭に入れてもらいたい。
庶務	審議会では何らかの根拠のある数字を参照することになります。平成20年の時には、公務員（三原市役所）給与の18歳高卒で何年目のところを参照しますというような数字を当てはめています。それがおかしいということであれば、何か根拠のある数値を持ってこないといけない。
委員	うちのを出しましょうか。28年勤務の職員が●●（地区名）を担当している。年収が太いですが参考になりますか。
庶務	<p>去年、実態調査をする中で、（許可業者に対して）会社の経営状況とか、職員の賃金の状況であるとかを調査させていただきをお願いをしたが、提供は一切できないという回答であった。</p> <p>今回は、どちらにしても初回の改定案であるので、平成19年にこれが統一基準書だということで作ったものがありますので、当然それを踏襲した形で提示しております。ここを見直すべきと宿題をいただいたものについては、次のヒントに基づいて、ここをこうした場合は、こうなりますよという形で皆様にご提示するようになります。</p> <p>去年数値をいただければ参考にすることもできましたが、今後、そういうことなら提供に協力しよう話であれば、各業者に改めて依頼させていただく。</p>

委員	他の業者のことはわからないが、うちも本人の了解をもらいながらになる。
庶務	「こういった経緯で新たに知りえた資料で、こういった数値となります。」といった提示をするので、単価としてどうしていくかというのも、一つのやり方だと思っています。
委員	私が申し上げたいのは、世の中では汲み取り作業をする人を募集しても応募が無い現状であるということです。次の審議会で実態を把握するのにこういった資料が必要だとおっしゃっていただければ、本人の了解を得て提供します。参考になりますか。
庶務	なります。
庶務	市内業者さんの従事されている方の平均給与であるとか、賃金センサス、公務員給与、いろんなものが参考になるかと思う。これが参考になるのではないかというものをできるだけ用意させていただきたいと思う。
委員	わかりました。今後、詰めていきましょう。
庶務	今は、平成19年には市役所の職員が18歳で入って36歳の時にもらえる給料を当てはめることが適当であるということで決定がされているものを踏襲している。
委員	それからずいぶん月日が経っている。
庶務	(19年の決定を) 改めるということであれば、それはそういうことだと思います。
委員	<p>手数料のあり方について申し上げるのもなんですが、この機会に検討いただきたいことがある。現在、(手数料の計算は) 従量制か人頭制の2本立てとなっている。</p> <p>三原市は簡易水洗も人頭制で行っているところがある。人頭制は、元々、定期収集を計画的に行えるように世帯数に応じた料金としている制度であると思う。厚生省、国が出している一人1日あたりのし尿量の数値を基にして料金設定をしていると思う。しかし、簡易水洗は、水をいくらでも使えるので、実質料金が半値になってしまい、合わないケースが発生している。</p> <p>簡易水洗でないところは人頭制でも構わないが、簡易水洗は全て従量制という見直しを検討していただきたい。</p>
委員長	現実には合わない部分もあるということなので、このことも勉強していきたいと思います。
委員	審議の前提として、例えば、汲み取り回数が4回とか2.31回とか地域ごとに出されているが、それが適切な回数だと思って数字を見ているが、意見の中で実態に合っていないということであれば、最初からデータをやり替えたもので審議をしていただかないと(審議が)元に戻ってしまう。(回転数に限らず) 全ての数値が疑わしいものと考えてしまう。
委員長	今日の審議会を遡って整理すると、確かに資料には実態とかけ離れているデータが存在している。ただし、それは平成19年に定めた数値を現在置き換えられ

	<p>るものは置き換えて、たたき台を作った段階である。ご指摘いただいてその部分を次の審議で改善していこうということだと思います。</p> <p>最初から良い数値を用意するというごことは、ごもっともですが、今、用意できる数値をたたき台にして、今日、現場の方から色々なご意見を頂いている状況です。</p>
委員	分かりました。
庶務	<p>回転数については、色々な考え方があります。</p> <p>今、標準モデルは汲み取り作業に1時間かかるとしています。これが下がっているのではないかと考えています。往復する距離はほとんど変わりませんので、汲み取り作業の60分をどう考えるかということになるかと思っています。</p> <p>ここを調査して変えるということはできますが、それをすると、すごい数字が出るのではと思っています。</p> <p>モデルケースは1台の車両でどのくらい作業できるかということ計算しているものなので、どこの地域も1時間になっており、それがモデルケースを使うメリットになっています。</p> <p>例えば、久井や大和でこの地域は効率が悪いから高くなる、この地域は効率が良いから安くなるといったこと、また同じ三原本郷地域でも業者ごとに手数料を設けるのかという話が出てきます。</p> <p>作業効率を変えるということはとても難しいので、モデルケースということで前回のものを踏襲している。</p> <p>次回、なるべく実態に近づけるということということも検討するというごことで、なるべく（実態に近い）資料を用意しますので、比較検討していただければと思います。</p>
委員	<p>今、回転数の話が問題になっているが中山間地域の大和とか久井地域は回転数が少ない。それが原価に反映するのであれば、中継地点を設けてはどうか。中継地点を設けることで稼働率が上がると思う。</p> <p>原価の在り方についてもどこまで公平性を持ったものにごできるかということも課題になると思う。</p> <p>計算するうえで可能であれば（中継地点についても）含めて計算していただきたいと思う。</p>
委員長	<p>だいぶ長くなってきましたので、すこしまとめて行きたいと思ひます。</p> <p>モデルで考えて、数字を現実に近いものに改めていくという課程ということごで、車の話、回転数の話、また人件費の話もあるかもしれません。いくつかの課題をいただいた。</p> <p>あてはめる数値には根拠が必要なので、業者の方にもその数字をご提示いただくということ。</p> <p>こういったところが、皆さんにご了解いただいたところではないでしょうか。</p>
委員	<p>協力できることは、協力します。</p> <p>行政と両輪と思ひている。良いものを作っていきます。</p>

委員長	民間の皆様のご協力が無いとできない事業だと思っています。 他に庶務からありますか。
庶務	今回の基準の中で特に（検討する点として）バキューム車の再取得価格，回転数について実態に応じた何らかの数値を用意しなさいということ。人件費についてもでしょうかね。
庶務	今回，色々なご意見がでましたので，わからない部分があったら，また●●さんにも協力をいただきながら次回の資料を作っていきます。
委員	分かりました。できることはします。
委員長	順番に進めていかなければ，進みませんので，今日は若干先の話も伺っていますが，決して忘れませんので，このあたりのことから進めていきたいと思います。
委員	一般管理費について 10%にしてあるが，業者は通常 20%で計算している。 10%を用いられた根拠についても提示していただきたい。
庶務	通常，直接経費に一般管理費を 20%掛ける場合は，その中に職員の福利厚生であるとか賞与であるとかを含めるという考えです。 今回これ（原価計算書）については，（経費を）詳細に積み上げています。必要なもの全部積み上げたうえで，会社として必要なものとして 10%で計算しているものです。
委員	それは，前回答申でされたということでしょうか。
庶務	そうです。
委員長	概ね 20%になるということでしょうか。
庶務	20%に含まれるものについては，全部積み上げているという考えです。
委員長	他に何かありますかでしょうか。 無いようでしたら次にその他について庶務から何かありますか。
	次第：3 その他 庶務説明：資料無し

以上